

グローバル・ハーモニー・コンサート

添付資料 1 - A

(1) 「～世界の祈り～ Prayers to the world」出演者プロフィール

Aグループ：^{しょうみょう}声明 / ^{しょうみょう}高野山 聲明の会

高野山に伝わる声明は、大同元年（806年）に弘法大師によって伝承された真言密教の声明が、奈良・中川寺を経て、真言密教の根本道場たる高野山で真言声明「南山進流声明」として継承されているものである。

声明は、仏教音楽の中の「声楽」に属し、インド・中国を通じて仏教音楽の中心をなすもので、仏教の儀式を行うに際して用いられる。

高野山聲明の会は、その男声ユニゾンの迫力、華麗にして繊細な旋律、壮麗な衣、祈りを朗唱する荘厳さ、が高く評価され、高野山の中に留まらず、1989年の公演をきっかけに日本国内、海外でフェスティバルやコンサートに多数参加している。

【近年の主な公演】

(1) 伝統の響き（天台聲明との共演）<東京サントリーホール>

1989.11 ユーロパリア・ジャパン・'89に参加

<イタリア・フランス・ベルギー / 米国ニューヨーク他三都市>

(2) 日本・フランス 2000年音楽祭

「伎楽飛天 聲明・雅楽・交響楽の饗宴」<アクロス福岡シンフォニーホール>

2000.06 日本・フランス 2000年音楽祭

2000.06 フランス パリ公演 ボルドー公演

2001.07 高野山 声明の響き 大曼荼羅供 <大阪 いずみホール>

Bグループ：グレゴリオ聖歌 / パリ・グレゴリオ聖歌隊

1974年オリビエ・メシアンに触発されて、パリ国立コンセルヴァトワールの若手の声楽家が中心になって設立。1989年メシアンと共演。1993年フランス美術アカデミーのリリアンヌ=ベトンクール合唱賞受賞。1994年に女声部門を結成、1998年にはパリ大司教を通じカトリック教会法によって正式に承認されている。フランス国内をはじめ、ロシア、中国、韓国、レバノン、ノルウェー、フィンランド、エストニア、リトアニア、ポーランド、オランダ、チェコ、イタリア、スイス等の海外でも多数の公演を行ない、高い評価を受けるのみならず、グレゴリオ聖歌の普及にも大きく貢献している。

Cグループ：ゴスペル／ボーンナゲイン・チャーチ・クワイア

アメリカ、ナッシュビルにある The Born Again Church のクワイア（聖歌隊）である。この教会は、ナッシュビルでも有名な教会で、約 2,000 名が集っているビッグチャーチである。またグラミー賞受賞シンガーCeCe Winans(シー・シー・ワイナ)やステラー賞受賞シンガーAnointed、Montrel Darrette(アノインテッド・モントレ・ダレット)など、有名なシンガーが集っている教会でもある。

このクワイアは、教会の中で信仰的にも、音楽的にも選ばれたメンバー約 50 名で構成されており、一流アーティストたちも集う教会だけあって、このクワイアの音楽的レベルの高さは、前々から評判であったが、ファーストCDがリリースされるや否や、グラミー賞ノミネート、ドーブ賞受賞と、その実力が証明された。伸びと張りのあるハーモニーとはじけるような歌い方が印象的なクワイアである。

Dグループ：マコーム / 出演者は追ってご案内させていただきます。

マコームはイスラム音楽の根幹となるもので現在ではアラブ・ペルシャ本流の国々から周辺国に受け継がれている。トルコから中国西域に至るイスラムの流れを地理的にも中央から俯瞰できるウズベキスタンという利点から西にも東にもつながりが深く、今回のイベントの主旨に最適であると言える。